

水源禅師法話集 71

(2016年10月16日 東京法話会2日目)

2018年4月7日
一乗禅の会



千年 昔の 古都 プローナール スリランカ

目次

水源禪師法話	3
「ブラフマ・メータン」・崇高な境地	3
いつでも必ず苦はつきまとう、それを解決するには「仏・法・僧に帰依しそして精進」	5
人間の体には過去無量の秘密を持っている、その秘密は因縁しかない	5
すべて因縁	6
「この世は全て陽炎の様な世界」まずそれを知って静かに座り続けて下さい	8
いつも平安な気持ちで、深く気づいていて下さい	8
お釈迦様の事をよく研鑽して、深く考えて下さい	9
神頼みで神通は止めなさい・真理を観なさい・完全なる智慧も思い出して下さい	10
すべて因縁で、実際起こった佛光山での「海潮禪」	11
宣伝のチベットと実際のチベットは大いに違う	12
質疑応答	13
宇宙の次元の外にある「阿弥陀の世界」・お釈迦様の「法随観」でちゃんと観える	13
座禪の座り方について	14
カーヤヌパッサナーとラベリング	16
サッダ（信）がなければサティ（念）がうまく発生しない	17
原文と違っている日本語で訳されているパオセヤドーの「智慧の光」	17
アロートピュエ仏陀	21
お釈迦様の10の完全なる智慧	22
肉体労働での強烈な痛みを取ってくれる蒸留酒	24
「戒律ばかりが増える一方で、法が消えていく」とお釈迦様が言われた	25
仏の心が解析できないAIは恐ろしい方向に走ったら止められない	25
真実は隠され、本当の情報の真意を分からせない世界情勢というのが今の現実	26
慈悲の心が根底にある仏法に国境なし、そして多くの人々を救う	29
観音経と観音様	34

水源禪師法話

「ブラフマ・メータン」・崇高な境地

【水源師】

中村元先生の訳で慈經を読みたいと思います。中村元先生は日本でインド哲学科東京大学に置かれて私の先生と非常に親しくした方で、そういう縁もあります。

— 慈經読経 —

【水源師】

このお経でね、「ブラフマ・メータン・ヴィハーラン・イダマーフ Brahma metam viharam idha-māhu」。ブラフマ・メータンと言うのは、ここが仏教で、実は一番大事な所な訳です。ここでは日本語では、中村元先生が、「この世ではこの状態を崇高な境地と呼ぶ」。つまり仏教では、「この状態」が鍵になる訳です。「ブラフマ・メータン・ヴィハーラン」。仏光山寺に行った時に、私達が食べる前に、メッタ・カルーナ・ムディタ・ウペカの慈悲喜捨のお経を読みました。ここな訳です。

法随観も、やっぱり四梵住（ブラフマ・ビハーラ）。ブラマーの世界。ブラマーメータン、その愛。密教の最高の秘密もここに 있습니다。護摩焚きをやる時は、これをしっかりやれば、大変な素晴らしい！贈り物が来ます。これをわからない場合は、大体はマントラで言うのだけれど、このマントラで言う時は、何回も皆さんに説明する様に、お釈迦様はパーリ語でお話した意味がある訳です。

この意味と言うのは深い輪廻の意味があります。サンスクリット語は、その前、北方ロシアのアーリア人が来たというハイパーボレア（Hyperborea）のそういう文明は、西洋の私達には知られていないのですけれども。ロシアの方では明快に知って、今、西洋の方ではギリシャ文明が起こる前に「ハイパーボレアの素晴らしい文明の影響によって、私達はここにいます」と書かれている訳ですね。そういう事も一切押さえていますから。今は歴史も全部、歴史小説の思いを書いた事であって、本当の究極の歴史とは離れてしまっていると思います。

今この「ブラフマ・メータン」という所、確かに崇高な境地に達するという事をここで述べて。ここに到達するには、やはり第四禪定で528カテゴリーの慈愛（loving-kindness）の瞑想で第一禪定に到達、それから132カテゴリーの慈悲（compassion）の瞑想で第二禪定に到達、そして喜（joy）の第三禪定に到達し、捨（equanimity）、をニミッタを使って観て行くのです。捨の第四定禪（第四定禪ではありません）に到達してから、最終的には全宇宙が観えてしまいます。この宇宙の仕組みが解る中で、今度は

本当に、四界分別から、宇宙の秘密に入って、最終的に心の秘密にまで入って行くわけです。という非常に重要な事を、東京大学院の大先生でも、体感無しゆえに、こういう風な言い方をするしかないと思います。

と言うのは、日本には法随観が、弘法大師様の時にはやられた様な感じですね。「月輪がなかなか出ない」とか「甚だ少ない」とか。達磨大師も、経典を残した千年前に書かれた「達磨多羅禅経」を観たら、やっぱりニミッタが非常に重要で、法随観の修行法を書かれている訳です。この「達磨多羅禅経」をたった一人、学者ではなく、誰か在家の人が研究していると耳にしました。これが、今の日本の仏教の今の世の状況なのです。

だから、この前、仏光山で仏法僧の中で、ブッタ・ダンマ・サンガの中で、真面目に修行すれば、瞑想すれば、誰もが浄土に行くと。この事が、一番最初の、最も大事なジャータカに書かれている事も説明していないのですね。それで、あまりにも不思議な事に、私はこのジャータカ物語を調べて行ったら、一番最初にお釈迦様はこの事をちゃんと述べているわけです。だから、浄土に行くと言うのはそう難しい事では無い訳です。「非常に簡単に誰でも行ける」と、お釈迦様がここの一番最初の物語でお話したでしょう？昨日からずーっと。

それで皆さんは教典を良く読んで勉強されているけれども、今まで「ブラフマ・メータン」という事を誰か説明した講座を聞いた事がありますか？四梵住。南伝であれ、北伝であれ。この繋がり。密教との関係。私は、視線を下にして見ている訳ではないけれど、ちょっとこれはおかしいのではないかと私は思う。中村元先生は凄い大先生ですよ。経典では日本でNo. 1。私の先生と友人関係で、私の先生が大先生の名前を必ず書くくらい。私の先生も東京大学大学院博士号貰って。まあ、そういう教えの中で私はここまで歩いて来ました、けれども。

結局、お釈迦様の言うのは「本当の事を観て下さい！」と。この最初に書かれた、本当の事。結局教典を読んでも、それは頭の中では「そうだろう」と思っているわけで、私が説明しなければ素通りでしょう？このとても重要な所。密教、大乘、テーラーワーダが密接に繋がっているという事。この一言で決まっているでしょう？今回は、テーラーワーダの教典を持って来て、如何に大乘と密教と全て繋がっている事を徹底的に説明して行っただしょう？

最後の証が、仏光山で合宿した人達が、全てもれなく全て浄土に生まれる事が決定したでしょう？ここな訳です。このお釈迦様のお言葉をちゃんと明快に書いておられます。それが実際に発生した訳です。だから仏の法に出会うという事は、これくらい凄い事だと私は説明しているのです。

ウズラの赤ちゃんが過去仏の事を思い出して、十の一番大切な教えを思い出して、大火の中の森の火がスッと止まったと。そういうウズラの子供、まあゴータマブッダの菩薩行の時ですけど。菩薩と言って、人間、人間、人間ではない訳です。お猿さんに

生まれた、という事もお話したでしょう？森の神木になったとか。

いつでも必ず苦はつきまとう、それを解決するには「仏・法・僧に帰依しそして精進」

色々な姿形を変えて、輪廻転生を繰り返しているから、それでこの世はいつも陽炎の様に、特に私達はうぬぼれによって「誰かさんは家を新築した。私もしよう」。「誰かさんは車を持った。私も持とう」。「誰かさんが綺麗な衣装を着ているから私も着よう」という。何時の世でも、こういう風な、欺瞞の世界で生きていると。

という事で、お釈迦様が最初に「一体これはどういう事なのか？」と、最初に悟った後の最初の言葉がこんな訳です。ずーうっと、前夜、中夜、後夜で、自分の過去の映像がとどめもなく次から次に観えて来たわけですね。それを観た時に、今言った様に、「全てはこういう欺瞞の世界の繰り返しである」と。生まれて、死んで。生まれて、死んで。そういう風な「ドッカ・ジャティ・プナップナン (dukkha jati punappunam)」と言うのは「生まれ、生まれて苦の続きである」と。だから「どんなに天界（インドの神々の神殿に人間界とおなじ苦しみがある像図を見て、私はとても驚きました。）に生まれても、何処に行っても、必ずこの苦はつきまとう」と。

それを如何にして解決するかという事で、結局そういう方は「仏・法・僧、そして、精進（瞑想）する」と。お釈迦様が最初にこう言っています。「そういう方は、人間界から離れる時に、まっしぐらに浄土に生まれます」と。「Deva-form those faithful…」。デヴァ・フォーム (Deva-form) と言うのは、エンジェルと英語では言うか、神と日本語で言うか。デヴァ (Deva) と言うのは天界、第一、第二、第三、第六天界。私達はそれしか知らないでしょう？ここが「Deva-form those faithful straight fulfill」と言うのは、第一天界、第二、第六天界と言わない。浄土に行くという事なのです。南伝の方では、もうそこに行くから、もうお釈迦様の時代から、一所懸命帰依すれば行けるのだからと。一日、1分でも2分でも瞑想すればそこに行けるのだからと。

人間の体には過去無量の秘密を持っている、その秘密は因縁しかない

昨日お話したでしょう。その時に、インドはもう最高の哲学国、宗教、精神界最大でしょう。6つの学校が競い合っていたと。その内容は昨日説明したでしょう。それをダンマパダにこう書かれています。一所懸命真面目に修行しているのに、6部の僧が、6部、シックス・スクール、シックス・セクター。英語で言えばセクタリアン (sectarian: 宗派) という、日本語では6部と訳してしまうから。何か、先輩がいたずらするのか

な？と。修行させないのかな？そうではないのです。この6つの学校の生徒が来て、音を出したり、ガンガン騒ぎ立てたり、瞑想させないという事をダンマパダでは言っているけれど、日本語に訳してしまえば、6部になってしまう。

だから、私がこうして来たのは、如何に本当に真理の言葉を受け取るかと。それは瞑想して行くしかない。その瞑想法を皆さんと一緒に分かち合っている訳です。一番苦しんだのは、法随観、難しい。心随観も非常に難しい。よく見たら。ヴェーダナーヌパッサナー（受随観）もなかなか基礎がしっかりしていないから腰砕けになる。

ではカーヤヌパッサナー（身随観）はどうか？歩く、歩くという、そういうアーチャンチャーがした手法は、今の日本では出来ない様になっている。タイでも出来ない。見ていたら。ただ、四角い広大な所をゆっくり1時間、2時間。そうではないのです。カーヤヌパッサナーの真髓は、徹底的に歩き、歩き、歩き、歩き、歩き、歩き、その時に体に変化を起こします。だからピンダパーダをする必要がある訳です。だから何千キロもサドゥーで歩く事も必要な訳です。寝ても、立っても、覚めても何時でも瞑想。この事な訳です。

という事に、人間の体には過去無量の秘密を持っている訳です。その秘密は、因縁しかない訳です。因縁しかない。生きて、死んで、生きて、死んで、生きて、死んで、転生して、転生して、生して、繰り返して、繰り返す。それが全てインプットされて、それが、結局、今のあなた達、私なの。だから、良い因縁をいかにして創るか！これしか無い訳です。もし、このお釈迦様が言った、この最初の言葉から離れた場合には、全て荒野の酷い苦の世界に入って行くと。

すべて因縁

まあ、ある時、お釈迦様がね、ヴァイシャーリー（毘舍離）と発音します。このヴァイシャーリーの地は丁度、ブッダガヤとバナラーシの中間にあります。ここの大地が非常にお釈迦様が好きなのです。非常にこよなく愛して、ここに遊びに行くというか、瞑想しに行く訳です。ちょうど平原で、すうっと彼方があって、ちょうど瑞々しい様な感じで、私が行った時は、朝の5時から女の人達が、サッサッサッサと稲を刈っていました。

何故か、お釈迦様はこの地が大好きでね。ここの大地に自分の比丘を連れて、祇園精舎に行く間、ここが中間だから、ここに必ず泊まっていた時に、その時に弟子達が、そこで非常に立派な王様の息子が丁寧にもてなして貰って、そこで奥さんが来た訳ですね。奥さんは何とモゴモゴ。牛さんみたいにでっかく太ってコロコロした豚ちゃんみたいなわけです。「これはどうして？お腹も風船、パンパン！何で王子様はこういう女性と結婚したのか？」と不思議がっていたわけです。

そういう話をお釈迦様が傍で聞いていて、「実は、これは前の世でもこうだったのです」と。その時、この王子様はここの王様で、そこに田舎から出て来たとっても太った女性がいて、着る物は非常に粗末な服で「何とかお城で働きたい、小間使いしたい」という事で、面接を受けに来た訳です。王様はずうっと遠くから見ていたわけですね。したら、非常に礼儀正しくて、慎み深い。「この女性を嫁さんにしたら、このお城を非常に綺麗にしてくれるだろう」という事で、この女性は面接試験に受かって、その後、王様がジイッと見ていたら、本当に慎み深く、礼儀正しく、服装もちゃんと着こなすのです。

それで「あなた、私の嫁さんになってくれないか」という事で結婚をしたわけ。そういう風に、この現世でも、又、お釈迦様がいた時も、また同じ様にこういう風に結婚しているわけです。これを因縁と言うのです。だから、そういう風な、因縁、因縁と言うけれど、実際に過去をずうっと見て行って、この因縁の仕組みが明快に解って来る。お釈迦様は仏、仏陀ですから、全ての因縁をサアッと事細かに観えるのですね。

何回も言う様に、仏光山に来て、その時に「海印海潮禅」をお渡しした時に、ちょうどそれは「ウポーサタ（Uposatha：布薩）・デー」と言って、月が真ん中なの、半分、中間。それが浄化の日なのです。その浄化の日で、正に湖の前。条件が全て整った訳ですね。それでお釈迦様のこの言葉を見つけた訳です。「なるほど」と。何故、浄土、浄土という言葉でここで言うけれど、南伝では言わないのか？と。当然の事だと。「言うまでもなくそこに行く」と書いてある。

この本も実は、スリランカから買って来て、滅多に手に入らない本なのです。スリランカの人にはシンハリ語で書かれた教典を読むでしょう。殆ど英語を読まない訳です。たった一つ、コロンボにあるそういう英語版とか、そういう出版社の会社に行ってこれを手に入れた訳ですね。だから、私をととても大切にしてくれるお坊さんですね。ボディパンニャラマさん。テーラーテオ、大長老というタイトルを持っていますが、この人によって、お釈迦様の舍利も戴き、そしてこれを買って。何故か私が忙しくて、少しずつしか手に取って読む事が出来なかったわけです。

それで、今回、何故か、の本を持って来てお話して行って、何故、こういう事態が発生したかと。浄土に皆行く事になったかと。チベタン仏教の教典を調べても同じ事が書いてある。チベットもやはり、浄土に行く事を一般の人には勧めているわけです。明快に勧めている。日本はもちろん、中国にもある。南伝はどうなっているのだろうか？という事で読んだら、「ハタハタと！ここだ！」という事。私がスリランカに行って、この本を日本に持って来なかったら、これが解らなかったと思います。クエスチョンマークで「どういう事なのか？」と。明快にこれが書かれて確定。

それで、全て因縁です。因縁以外何もない。それも良い因縁ですね、作って行こうという事で、こういう事になった訳です。だから、お釈迦様が悟った時に、考えた時に「全ては因縁で生まれ、死に、生まれ、死に。それは、苦である」と。「この苦からは逃れ

られない」と。

「この世は全て陽炎の様な世界」まずそれを知って静かに座り続けて下さい

ではどういう風にして、この苦から抜ければ良いかという事をお釈迦様が言った訳ですね。「Iti imasmi sati ida hoti, imassuppāda ida uppajjati」と言う風に「私は、ここに生まれ、あそこに生まれ」という事からずうっと始まっていて、このナーマ・ルーパ（名色、心と体）のどういう風な状態になるか簡単にアビダンマの事を説き始めたわけです。

それを今度はどういう風にして、これを抜け出せるかと。それを如何にして壊して、この罫に嵌らない様にするかと。結局、生まれて皆さんは大きい丸太の間の中の犬の様に、クルクルクルクルクルクル回って出られない。何時の世も。だから、今、皆、若者が過労死して体を壊すと。クルクルクルクルクルクル、中で、苦ですね。それを一瞬、酒を飲んで、遊んでダンスをして忘れても、現実的にはまたそこでクルクルクルクル回って、沢山の若者が大変なストレスで病魔に襲われて。

「では何の為に生きてこれをするのか？」と、お釈迦様が。意味がない。皆、虚栄の欺瞞の中に生きていただけだと。この世は全て、そういう風に、陽炎の様な世界であると。そういう事を、まず知って下さいと。という努力をして下さいと。それを静かに座り、そしてそれを続けて下さいと。これが10のお釈迦様の完全なる教えと。だから1、2、3説明しましたね。

いつも平安な気持ちで、深く気づいていて下さい

次は、その後はどういう事が必要なのかと。第4つまり、感情を高ぶる事を静める事。いっぱい飲んで「ワー！」とそういう事はあまりしない様に。「楽しい、楽しい」でダンス、ダンダンダンとかね。自分では無いのに「勝った！勝った！」何とか言って、自分が選手になったように「野球！ワー！」とか、あまりそういう事をしても意味が無いし、また副作用が起きますと。第五、出来るだけ、この悪世の世から離れる様にと。つまり、欺瞞と虚栄と意味のない苦の世界から。という存在から離れる様にと。

何と言っていました？その方法を。お釈迦様は「仏・法・僧に深く帰依して瞑想を続けて行けば、必ずや浄土に行ける」と。非常に簡単。「もはや、こういう苦の世界から抜ける第一歩を得られます」と。いつも出来るだけ平安な気持ちを続けて下さい。第六そして、深く気づいている。気づきの世界。

私の湖の前には、カナディアン・ギース(雁). がいつも春に子供を育てて、湖の上で

生活している訳です。やっぱりお母さん鳥はヒナを連れて、スーッと陸に上がって来て、まず子供達に食べさせる。また、お父さん鳥はその側にいてジイッと見張りながら食べて。強い若者の鳥は一つも食べないで、四方の角に立って、ジイッと集団を見守っている。そして又、その湖に帰って行ったら、結局、若鳥だからねじゃれ遊ぶのですが「グワッグワッグワッって」と大将鳥が言ったら真っ直ぐに一行にずうっと続いて行くのです。そして、一番鳥の大将が飛べばね、凄いもので、こう行くでしょう。そしたら、ピューッと方向を変えてダアッと並んで隊列組んで飛んでくからそれは、凄いものです。

という風な、自然のカナダギースの学校。「いや、見習う事があるな！」と、こういう風な気づきをして下さいという。エンライトメント(enlightenment)。エンライトメント、気づきの事。最高のエンライトメントはお釈迦様のこの事だけれど、正覚とか、目覚めるとか。

こういう事で、涅槃に行く、行きたいと。「涅槃に行く」という心を持ち続けて下さいと。何故かと言ったら、私だけが良くて、そういう素晴らしい世界に行くと。そういう事ではないのです。ニッバーナは。そこに行けば、こういう事です。一人も残さず、皆さん一緒に浄土に行けるでしょう。ここなのです。本当に皆一緒に行ける。あの場で観ました。一緒に行けるご褒美を観音様から。だから、そういう風に、あなたが涅槃に入れば、いずれか全てがそういう事になるから、頑張ってくださいと。壮大な事なのです。

お釈迦様の事をよく研鑽して、深く考えて下さい

第七　そして、深く過去仏とか、お釈迦様の事をよく研鑽して、深く考えて下さいと。つまり、ゴータマブッダが菩薩の時、ウズラの赤ちゃんで、飛ぶ事も歩く事も出来ない。ただ横たわって、お父さん、お母さんウズラが森の火の中で逃げて飛び去ったと。その時に、もうどうしようもないという事で、この十の完全なる教え。過去仏の事を思い出した。その力でその森の火が止まった訳です。

それで、お釈迦様がその同じ場所で修行をした時に、森がまた燃え始めた。ダアッと。その時に、お釈迦様の所に皆が来て、お話を聞きに来た時に、お釈迦様の16m先は火が一つも届かない。32m前の所は全て火が落ちて消え去ると。そういう事で、比丘達がお釈迦様に聞いた訳です。「一体これはどうした事か？」と。「これは、過去、長い長い劫の時に、私がウズラとして生まれた赤ちゃんの時に、過去仏のこの十の完全なる法を思い出した。その思い出したその法力によって火が全て消えた」と。

だから、ここの事を、法華経の長者が子供達に「出ておいで、出ておいで」と言う、「何でもあげる」と言う、この法の事なのです。これが、実際に起こった事なのです。森全体が焼けて、今度は500人の比丘がもう命からがらになる時に、お釈迦様はただ座

っていたと。これが、過去、もうどれくらいの劫か解らない。遠い昔と言っているお釈迦様が。

遠いイーオン(aeon)、イーオンというのは劫の事。エターナル・タイムと言う。イーオン、英語ではエターナル。エターナルと言うのは、ファースト・エターナル、セカンド・エターナルと、また解説があります。だから、そういう風に、英語で言おうが、日本語で劫と言おうが、誰も説明しない。どれ位遠い時間か。言われていない。また、時間も直線ではなく、過去に帰ったり、未来に行ったりとか、不思議な動き方をします。ただ、私達が「今は前だ」と。「過ぎ去ったのは後だ」と。ところが、私達の歴史を調べたら、繰り返し、繰り返し、繰り返し同じ事をやっている。

まあ、それは置いておいて。過去のそういう風な、過去仏の事を思い出したと、これが本当の完全なる教えであるから、こういう「アクト・オブ・トゥルース(act of truth)」と言います。絶対的真理。その力が、このウズラの赤ちゃんでも思い出したとゴータマブッタがね。森が大火の中で、火がパッと落ちて静まると。

というお釈迦様のお話されたこういう事が、あまり日本では紹介されていないか、聞かない。という風に、私達は僧としてはこういう所まで、出来るだけ近づかなければいけないわけです。13名全て、蓮の花の中に座って浄土に行けると。浄土に生まれる決定。その紹介でそういう現実が起こったと。それが全て繋がっている。それが、セクタリアン（宗派）で「これ、これ、これ、これ」と。全然見えなくなる。第八 お釈迦様が言われている、こういう風にして、統一して見た場合には、日本の大乘仏教、チベットのタントラヤーナの密教、テーラワーダ（南伝）の事が現実的に書かれているのですね。

神頼みで神通は止めなさい・真理を観なさい・完全なる智慧も思い出して下さい

第九 それでこれが本当かどうか、やはり瞑想で確かめて行く訳です。その瞑想は、どういう風にして確かめて行くかと言ったら、法随観の第四禅定を使います。では、そういう風にして禅定に入るかという、その方法も日本では教えられていない。但し、弘法大師様の場合には、明快に「月輪」で書かれている。最も重要な四梵住、四無量心というブラフマ・ビハーラ(brahmavihāra:慈・悲・喜・捨)という言葉が解って。それが、現実的に護摩焚きが、これが無ければ完成しない訳です。それが言われていない。その原盤は、ブラフマ・ビハーラという、南伝に残っている。北伝はサンスクリット語の真言しか残っていない。だから、その意味する事が解っていない。

それは、祈祷仏教になります。一生懸命「嗚呼！」（祈祷）。これはお釈迦様は「止めなさい！」と。「真理を観なさい」と。それは、アビンニャー(abhiññā)になる。アビンニャーというのは神通と言って、神頼みで「嗚呼！」とやる。ドンドコドンドンドン

ンドンとやったら奇跡が起こるわけ。本当に。人間の心の作用で。これは本当の法とは関係が無いと。ただ「仏法僧に深く研鑽して帰依して、そして瞑想して下さい」と。特に最後の第十の完全なる智慧というのは、「過去仏の事も思い出して下さい」という事なわけ。

だから、「涅槃に行けば関係無い」という事ではなく、何時の世でも、どこの時空に居っても必ずやこの法の力によって救われる事なのです。だから、地蔵菩薩様が、過去500劫の昔の仏にお祈りした訳です。そして、お母さんが地獄に入っている所に行って助け出した訳です。それで、今は地蔵菩薩という凄い菩薩になっているわけです。

まあそういう事で、ちょっと本当は瞑想から入って行く所が、結局ね、これを素通りしてしまえば、「ブラフマ・メータン・ヴィハーラン・イダマーフ (Brahma metan viharan idha-māhu) 」。これが結局「崇高なる境地」という日本語に訳されてしまうでしょう。それで、今まで長々と法話ではないのだけれど、法話形式になってしまつて。これを説明しなければね、何の為にあなた方が瞑想をして、何の為にこれを拝むのか。空念仏になる訳です。空念仏にならない様に、今、私がお話しています。

すべて因縁で、実際起こった佛光山での「海潮禪」

凄い事なのです。仏法、正法に出会う。本当の法に出会うという事は、これは宇宙の奇跡であるという事を体験して、実際起こりましたね。前代未聞の日本では起こった事のない。これはお釈迦様の言葉によって発生した訳です。幸いなるかな、私がブラフマ・ビハーラの行法を知っていたから。結局、仏光山の秘密は、慈悲喜捨。それ。ブラフマ・ビハーラ。だから、密教の最高の秘密もこの四梵住。ブラフマ・ビハーラ。ただこれを実際にどういう風にして体験出来るかは別の話し。ただ、真言を唱える、唱える、唱えると。その現象はあるかもしれないけれど、実際は観えない。どういう事か。ただこれは祈祷仏教になってしまう。

だから、三重の神社あるでしょう。伊勢神宮。出雲大社。広島、厳島神社。全てここには大蔵経が納められている。大蔵経が納められている。それだけではなく、名だたる全ての大宮には大蔵経が納められている。例え紙に書かれた事であっても、中国語であるにせよ、漢文であるにしても、そこにはそれを書いた和尚様の心が残っているから、その法力の影響がある事が解っている訳です。それ程尊い事なのです。だから、日本神道と仏教は切り離せない様になっています。

いつもこの事が気になって、どうしたものか？それでこう突っかかって、間違えたけれど。昨日も説明したけれど、ブレないと。和尚さんが言った、このブレないという事を六つの方法から説明したでしょう？事細かに。一つの言葉で済ますからね、皆、ぼやけて解らないわけ。一体ブレないとは何処を言っているのか？と。

では何故人間は涅槃に行かなければいけないかと。お釈迦様が永遠に観た過去世を観たら、苦、苦、苦であると。王様に生まれようが、何をしようが、苦の連続で、そして全ては欺瞞と栄光の欺瞞と詐欺の世の中であって苦しみから逃げられないから、こういう悪世から逃げなさいと。力の無い人でも、これをしたら浄土に行けますという事を、最初に書かれている訳です。

これを発見したのは皆さんが一生懸命、その心が無ければ発生しない。またそういう場所。また湖があった事。その瞑想法をしたという事。全て因縁な訳です。頭であれこれ考えて出来た訳ではないのです。ましてその日が浄化の日で、ウポーサタ・デーだったわけ。月が半分。その時、私達は髪を剃ります。汚いものを全て投げると。だから「またお願いします。」と言っても発生しないかも知らない（笑）。

宣伝のチベットと実際のチベットは大いに違う

私達がチベット仏教と言われている宣伝部隊の仏教と本当のチベット仏教は違う訳なのです。何故かと言ったら、チベットの大和尚様に聞いたら、英語が出来る人は3年で宣伝部隊にして外国に出すと。仏教が確りと解っていても解っていなくても関係ないわけ。英語でバンバンバンと言う。他の修行が出来る僧はずっと修行させる。だから宣伝部隊の英語の宣伝と実際は大いに違うと思います。それに、西洋で言われているチベットの現状と私が行って見たチベットの現実も違うし。

この前、NHK で見て、ラサのチベット人は困って、経済的に…と。ところが、私が行った時は、今の 1/3 位の町しかなかったわけですね。今は3倍に増えている。高度4千5千だったらね、普通の中国の人はお金を出しても行きたくない所なのです。ただ、金儲けでツーリストが来るのだけれど、私が最初に中国に20年位前に行った時には、物の売り買いの商売の方法も解らないわけ。どういう風に売ったら良いかも。だからましてや、チベットのそういう山奥はもっと解らないから、商売が出来る訳がない（笑）。

私がNHKのそういうものを見たら、私の見た現実と違う。安いから私はチベット人ポーターの中に入行って、そこに泊まって食べて、大事にしてくれるから、楽しく。だから、現実と私の体験、宣伝されているNHKとかそういう西洋の報道と、実際に私の体験した事は大いに違いがあります。日本でもそうではないですか？田舎の人は商売はあまり上手ではない。私は大阪に住んでいたから大阪人は商売上手いですよ。上手です（笑）。



密教の祭壇 スリランカ

質疑応答

宇宙の次元の外にある「阿弥陀の世界」・お釈迦様の「法随観」でちゃんと観える

【参加者】

浄土というのが解らないのですが。瞑想で多分浄土だろうな？という所を観させて貰って、これが六道の中にも入っていないし。でも、涅槃と言うとまた違うから、どこがどうなって…。

【水源師】

それで、私が苦勞した訳です。そしたら、この阿弥陀の世界は、この宇宙の次元の外にある訳です。ではどうしてそういう所に行けるのか？と。この地球から一番近いアルファ・ケンタウリ（Alpha Centauri: ケンタウルス座 α 星）という4光年の星でも4,5万年ロケットで掛かるのに、どういう風にして行けるのか？と。実際、非常に簡

単で、私が何回も言った様に、この手の中に無量の宇宙を入れられると。第五次元の世界が発生するから時空は全く関係ない。ところが、私達の頭はこの宇宙の限界の中で教えられているから、無いものと思ったから探し出せなかったわけ。それで、観音様のお力によって、観せていただいて「なるほど」と。と言うのはその前にもう第五次元の世界を体感しているから「ああ、なるほど」と納得。そこです。だから「ない」と言われれば観えないのです。「あるよ」と観せられたら、「ああ、ある」と。不思議。だからお釈迦様が「ありますよ」と、ちゃんと観せてくれました。

ところがその当時、6つの精神学校は「ない」と言ったのです。何故かと言ったら見えない。お釈迦様が最初に見せる手法を教えたのです。法随観。それで、沢山の人が過去が観え始めて納得した。だから、今でも現代の主義主張は、この6つの学校の中にピタッと入るでしょう？何も進化していない。騙しの世界の中にいる。

ハーバード大学でもカーネギーでもケンブリッジでも（新しい事をする教授は無視されるようです。）、この6つの枠から出られないから、今惨憺たる人間の悲劇が起きているわけ。現代において、お釈迦様がその当時「全て間違いですよ、悲惨になりますよ」と言うのが起こっている。2500年の実験の後。この学校でやっている、ニヒリズムとかファタリズム(fatalism:宿命論)とか全て、6つの学校。

それで面白い事にアカリア (Acharya) というお釈迦様の最初の源流の学校というのが、その名前だけでも、今、ヒンドゥーとかヨガとか全てこれ使ってしまっている。逆に入れ替えてしまっている。今私達は3つ。マハヤーナ、テーラワーダ、タントラヤーナと3つに分かれているという事（ヒラヤーナも今だに存在していると言われていきます）。全ての源流はここからお釈迦様から出ている。

座禅の座り方について

本当は半跏とか結跏とか座り方がありますがけれど、無理をしない様に。あぐらでも良いです。まずは楽々でそこから徐々に瞑想に入って行けば。座れない方は椅子でも良いです。または、それでも無理な方はソファー。または、寝ながらするとか、臥禅。まず楽しんで、心を観る方向で行って、そこから入って行きますから。ある偉いお坊さんは、寝ながら悟りに入った訳ですね。臥禅と言って。だから形は私もこれが一番良い状態で、ずうっと長く座れますけれども、こう（結跏趺坐）なれば、やはり2時間くらいになります。2時間くらいで何か痺れが来ると思います。長時間座る場合は、やはりこう（あぐら）ですね。

慣れればどういう方法でも良いのだけれども、心を静めて、静めて、静めて、ずうっとして行けば色んな事が浮かび上がってくる訳です。ただそれにつられずに、ずうっと座って行く事によって、無駄な垢が落ちて行きます。その内に段々座って行けば、気

づきとか、色んな不思議な現象が出て来ます。但し、その時には心から仏に帰依すると。仏陀でも良いし、菩薩様でも良いし、常に帰依している天界の梵天様でも良いし。それはこの因縁によって発生しますので、自分の一番しっくりした素晴らしい聖者の。そういうゴータマ仏陀、私は大好きです。観音様も大好き。地藏様も大好き。もう好き好きがいっぱいだけれど、やはり一つ、こう締めながら。阿弥陀様も大好きで、何故かと言ったら皆さんを浄土に導き入れて修行させてくれますからね。

やはり、私がずうっと第四禅定で、最初に海印海潮禅でやったら、フッと観たら、近くから、自分の体から離れて観る訳ですよ。近くと言うのは。近くで離れて観る。そしたら、皆すうっと座っているのです。浄土の様な所で。それで、遠くからずっと観た訳です。遠い彼方から観れるわけです。そうしたら皆さんは浄土みたいな所に座していると。それで、第2回目にそれが発生したと。

だから、まあ楽々で十分です。まず、私は非常に健康体なのです。今でも五千メートル。六千メートル。南米、東南アジアどこでも行ける体ですけど、普通は私の年齢になったらなかなか難しくなります。薬漬けで。私は一切の薬も、お医者さんにも行きません。自分の体が解るから。それで、食べ物も好き放題、食べたいものを食べます。あれこれと言う事は全然ないです。

その原因は、若い時にね、私の先生が教えてくれました、まず瞑想をする前には、お腹をいっぱい膨らませて、お尻の穴をギュッ！と縮めると。そして、その風船を口から空気をすうっと5秒で放すと。そして、またそれを繰り返す。5回。解ります？お腹をフウッと膨らます。その時に、膨らんだ頂点で肛門をギュッと絞る。それで、口からゆっくり吐いて行くと。5秒。1, 2, 3, 4, 5。これが秘密だったのですね。これで、ジーヴィタ (Jivita)。ジーヴィタと言います。生命力。これを一般的にはクンダリーニと言いますが、この力が発生するから、知らずにやって行ったら病気も何もしないで、大体こういう風に過ごしています。これがやはり強い力であれば、瞑想も楽々で出来ますから。

という風に、まずそれを5回繰り返して、後は「鼻から息が入った、出た、息が入った、出た」でやるか。それでなければ、直接、丹田の方に行って、「お腹が膨らんだ、縮んだ」と。これはカーヤヌパッサナー（身随観）の始まりになります。ここから全て非常に重要な第一歩を踏み出します。そこから今度、ドンドン色々な瞑想法に入っていきますけれど、急がない事ですね。一步、一步、ゆっくり、ゆっくり、楽しみながら、心に変化が現れますから。

【参加者】

お腹の膨らみ縮みはマハシだと思っていたのですが、違うのでしょうか？

【水源師】

カーヤヌパッサナーがマハシの手法です。お釈迦様はサティパッターナ (satipaṭṭhāna: 念処経、四念処経) で、ミャンマーには、カーヤヌパッサナーのマハシ。マハシがやった訳ではないのですよ。お釈迦様のカーヤヌパッサナーです。解ります？カーヤヌパッサナー。身体。身随観です。中国語と日本語では身随観。それから、ヴェーダナーヌパッサナー (受随観)。それから、チッタヌパッサナー (心随観)。それから、ダンマヌパッサナー (法随観)。この「4つの手法だけが涅槃に達します」と。正にその通りで、この手法があります。全てお釈迦様から出ています。

カーヤヌパッサナーとラベリング

【参加者】

お腹の膨らみ縮みは、集中と共にサティ (マインドフルネス) が働かなければいけないのですよね？

【水源師】

もちろんそうです。ただ集中力が無くて、気づきとか、本当に膨らんでいる、縮んでいるという事もしつかりと、気が迷いなくやればそれで OK。

【参加者】

そこでラベリングを入れた方が良い訳ですか？

【水源師】

要らない、要らない。それをやれば、何故ラベリングをやるのかと言ったら、皆適当にやるから「もっと気づきなさい！」という事でしっかり歩かせる為の事であって、そこをしっかりと思えば、ラベリングをやって成功したという人の話をまだ聞いた事がない。そこが大問題。「ラベリング、ラベリング」と言いますが、ラベリングをやってどの状態に発生したか？体から光が発生したか？体がボン！と消えて次の段階でどこに入ったか？という報告をまだ聞いていない。そこが大問題。

一番最初のカーヤヌパッサナーは体を動かすので、非常に楽です。カーヤヌパッサナーの場合は座って出来るでしょう。ところが、アーチャンチャーの南伝の言うのは、「歩きなさい」と。「歩け歩け歩け、山も谷も歩け」。それだけ。ただ「歩け歩け」。だからピンダパータ (piṇḍapāta: 托鉢) が非常に重要になっているわけです。そのピンダパータの中で、もはや修行が始まっているわけです。

サッダ（信）がなければサティ(念)がうまく発生しない

【参加者】

鼻の方なのですが、これはいわゆるアナパナサティですよ。ちょっと色々読んでも、結局それに対して、集中力の修行なのか、サティを入れなければいけないのか？どっちなのか良く解らないのですが。

【水源師】

サティと言うのは、しっかりと「空気が入っている、出ている」と。しっかりと心で体感しながらやるという事であって、生半可に「鼻から空気が入っている、出ている。あ、入っているかな？」、そうではないという事。そうではなく、念仏の「念」。「念」というサティ（sati・マインドフルネス）ですね。それにはやはり心から仏に帰依するというサッダ(saddha)、「信」。と念。「信」というのはサッダ。心の作用は「信」と「サティ」が一体化しています。続いています。だから、サティだけやっても、本当に心から仏に帰依する「信」。「サッダ」がなければ「サティ」が上手く発生しない。

だからお釈迦様は昔の話しを聞いて「良く感銘を受けなさい」と。お釈迦様はどれだけ苦労してこの法を持って来たかという事を深く研鑽した時に、涙が出て、観音様の偉大な心が出た時に、「信」というサッダが出て来ます。サッダによって「サティ」が発生して、もう空が晴れた様な気持ちになって来ます。これを「サティ」。「念」と言います。アナパナサティ。

だから、ダンマヌパッサナーではこれが非常に大切に、特にナーマ・ルーパの時にこれを解析していきますけれど、これをただ頭だけでやれば雲がかかって観えないです。字だけがもう頭の中に発生して。だから「考える事を止めなさい！」で、ただ「実態でやって行って下さい」と。

原文と違っている日本語で訳されているパオセヤドーの「智慧の光」

【参加者】

そこは良く解らないですが、パオは徹底的に三昧まで行って、それからサティを加えて、という理解だったのですが…。

【水源師】

いや、そうではないです。全然違いますよ。誰がそんな事を言いました？

【参加者】

そう言う人がいます。

【水源師】

あのね、悪いけれどミャンマーの比丘の話では、日本から来た修行者は誰も終了した人はいないのですって。だから何でもありです。だから、思った事を自分なりに言っているだけで。三昧に入る前にまずニミッタが必要で、ニミッタが入らなければ三昧の修行はさせませんよ。だから、そこですぐにバレる訳です。適当に言っておりますね。

【参加者】

アナパナサティですが、パオ・セヤドーの本では、「一回やって、一数えなさい」と。

【水源師】

大いに間違いです。

【参加者】

え！嘘ですか？本に書いてありましたよ。

【水源師】

誰がそんな本を書いたの？誰の本ですか？

【参加者】

パオ・セヤドーの本、「智慧の光」。

【水源師】

「智慧の光」の中国版原書にも書かれていないし、パオサヤドーが私に直接お渡し下さった英語版にも書かれていませんし、ミャンマーのびくの教本にも書かれていませんよ。だからその方は体験した人に聞いて下さいよと書いるでしょう読んでみて下さい。

【参加者】

実際にはどうしたら良いのでしょうか？

【水源師】

ただ「空気が入った、出た」をしっかり観て下さい。それだけ。

【参加者】

観るというのは気づきという事なのですか？

【水源師】

いや、空気が入ったら感じるではないですか？出たら感じるでしょう？それだけです。これもまた発見ですね。中国版にも一つも書いていないでしょう？英語版にもそれ一つも書いていないでしょう？言いたくないけれど。さもありなんで間違って修行して、禅病になったら 白雲禅師の様にたいへんな苦しみを受けますよ。まあ、私がその方がパオで修行されている時に、書かれた日本語版本をその方より直接頂きましたでは原書には、アナパナサティのその様な解析はなかったけれど。その「智慧の光」は誰かほかの方が書いたのではないですか？私の英語版と中国語版と日本語版にはないですよ。

【参加者】

日本語版があるのですが。

【水源師】

だからそれは違う。書いた人の名前を聞いたらすぐに解る。誰が書いたか。こういう事が往々にして全部やってしまう訳です。教典仏教か何か。又聞きで、誰かがやったのを聞いて書いたのかも解らないけれども、それは正法ではない。正式な方法ではない。ただ、最初の方法として出来ない人に「そうしなさい」と教えたかも知れないけれど、ウ・レワタバンテは一つもそういう事を教えていないし。私の同期のウ・コビタもそういう手法は取っていないはず。これが日本の現状です。良いですか？

まあ好きな様にやられても良いですが、それで行ってやっても、心の進化は難しいはずです。結局、まず最初に土台を作って下さいと。土台を作って、そこからどこに行くかと。ここで20年も30年も修行しても、やはり土台を作るチャンスがなかったから、ある程度は行くけれど、上手く行かない訳です。それで、私が今年は、マラナーヌッサティ（Maranānussati：死随念）。それからメッターヌッサティ（Mettānussati：愛の瞑想）、気づきね。それから、今度は観音様の「海印海潮禅」を入れたわけです。それで、凄い事が発生したわけです。

だから、そういう風にダンマヌパッサナーでやっても、最初のニミッタを3時間半持てる状況が日本に発生する訳がないし、時間もないし、出来ない状況わけです。それを1時間に削ったってこれは腰砕けで出来なくなる。という事が現状です。だから皆さんに一番良い方法をまずして貰って、それから進む事ですから。今までどういう瞑想をしていました？

【参加者】

同じパオで修行された方が、その方も「出来れば数を数えなさい」とそう仰っています。その様にやって来たのですが…。

【水源師】

それは、私の同期は誰もやっていないですよ。パオの現地の人も。全部終了された方ですよ。だから、そこで、もう第一歩が完全に狂いますね。私はこれを初めて聞きました。終了された誰も言っていません。それを。何故かと言ったら、最初に皆の前で、150人の前で呼吸の仕方、アナパナサティを教えます。私は、そこに11ヶ月いた時、新しく入って来る人に、ウ・レワタバンテは一回もその事は言った事はなし。また、パオ・セヤドーから直接習った方も、そういう手法は一人も取っていない。終了された方達ですよ。まあそういう事です。

だから、まあ。ジャータカ物語を読んだ事がありますか？ジャータカ物語のお釈迦様の一番大切な第一番を読んだ事がありますか？そこです。それで全て解る訳です。だから一応、全て投げて下さい。紹介もされていないはず。この原板を英語でまず読む。また、全て体感して、チベット教典、大乘経典、小乗教典と実際に比べてそれで読むのですよ。ジャータカ物語。

【参加者】

前生譚と言われているものですよ？

【水源師】

これは原板。パーリ語からの英語、原板。せめてこれくらいで読んで下さい。だから結局ね、お釈迦様はこう言った。悪いのですけれど、そう今言ったあなたの事は止めて下さい！と。「瞑想して確かめて下さい！」と。最初のジャータカの第一の教訓がここに書いています。2500年経った後で「止めて下さい」という事を「そうだ」とやっているわけなのです。パオで言った「数える」という事を、聞いた事も無く、実際に教えている人もやっていないのに、一体、どうしてこの方が言うかも不思議。

【参加者】

先生、クムダセヤドーも「吸って吐いて一、」。

【水源師】

それはクムダセヤドーの方法で、パオ本部ではやりません。但し禅法ではこのやり方で教えていますが、南伝のパオでは教えていません。ただクムダセヤドーが禅を禅

師より教授された場合はべつですが、大いにクエスチョンマークが付きます。残念ながら教典から学び認可をと言うクエスチョンマークがあるとパオの比丘達が言っていました。「吸って吐いて一、」という風に教えていたとすれば心随観になり、禅法の禅師となり二法を持つことになりますね？ 大変に素晴らしいことですが、

パオの比丘達の話には、二法を修得されたと聞いていないので、多分 通訳の問題ではないですか？ お釈迦様は「ジャングルに入って悠然と涅槃の境地でずうっと高めて行きなさい」と言っておられる。

ただ、私が日本に来てこうしてやっているのは、異常な事態が発生しているから、ここに来てずうっとやっていますが、その事はもうパオに報告しております。何を日本でやっているか？という事を報告したら。本当にびっくりしていました。ミャンマーは大変な尊い佛国ですよ。本当にもう仏に帰依して、そういう事はありません。する考えもない。必要もない。ただ、一生懸命に帰依して行けば、浄土に行けるという事を皆解っているはずで、する必要がない。全く！

だから、そういう事で良いですか？だから、まあ、やってみてください。15分。それから15分やってみましょう。そういう事から始めてみましょう。

— 瞑想 15 分 —

【水源師】

どうですか？今、アナパナをやってみて。やりました？どうでした？安定しましたか。私が、パオ・セヤドーより直接頂いた教本には、吸って吐いて一は、書いてないですよ。それではもう一回15分やって、問題が無ければ、その後30分続行、それぞれしてみてください。質問があれば、色々な現象が出て疑問があれば聞いて下さい。

— 瞑想 15 分 —

アロートピュエ仏陀

【参加者】

つかぬ事をお聞きしますが、お釈迦様の仏像から何かパワーが出ていますか？

【水源師】

このカクサンダー仏陀が、アロートピュエ仏陀という名になって、バガンで千年前に出来たお寺。今でも世界遺産になっています。そこで、近年において、20年間瞑想していたお坊さんが、和尚さんが。それが現象として仏が現れてきて、その廃寺を訪ねたら、その仏が居られたそうです。ミャンマーでは、「アロートピュエ・テラー」と言

って、和尚さんは非常なスーパースターで、そこのお寺からコピーしてもらったものを頂いています。「願いが叶う仏陀」と言って、非常に今、ミャンマーでは人気があるわけです。ミャンマーでは、こちらと違って、偉いお坊さんがスーパースターになって「その話を聞きに行こう」とか、そういう事が非常に楽しみなのです。其処には非常に大きな僧院も寄進されて、ヤンゴンには大きな大学まで持っています。

— 瞑想 30 分 —



仏の頭骨と顎骨の舎利あるパゴダ、瞑想時に沢山のビジョンを観ました。

スリランカ

お釈迦様の10の完全なる智慧

【参加者】

2度目の15分の時に、瞑想を始めてすぐに涙が出て来てしまっていて、どうしてかなと思って、しばらく続けていて。お話の中で、お釈迦様がお好きな場所があったと法話の

時にされていて、それが多分「仏陀最後の旅」という中村元先生の訳で、「ヴェーサリーは楽しい」という事をおっしゃったと書いてあったのですけれど、その事だったのかなという所で、そこが私はかなり好きな文章だったので、何か座っている時にフッと思い出して、急に涙が出て来てしまっ。その15分終わった後に「そのお釈迦様の像からパワーが出ています？」と聞いたら、そういう事もあるという事だったので、30分の瞑想の時に、そこで「そうか！」と言うか、納得と言うか、体感的に。

【水源師】

そうです。その事をお釈迦様の10の智慧の中の、これだけしか。全宇宙の一切の仏がこの中に入る教えの、最後のあなたが感じた体感が大切です。常々、そこを続けて下さいって言っています。それによってドンドン進化して行きますと。良かったですね。

【参加者】

有難うございます。

【参加者】

きっかけが違いますが、多分同じタイミングで私も泣いていたのですね。何かその時の何と言うか、雰囲気があるのですかね。阿弥陀様？

【水源師】

観音様ですね、慈悲の具現化で、涙が最後の印として出て来ます。

【参加者】

でも全然、エピソードが違うのです。私は多分、自分の中で仏教を認識し始めたきっかけがあって、それに感謝していたら、何か…。

【水源師】

そうです。そこです。だから、そういう事を続けて下さいと。深く。そこからドンドン進化して行きますと。その事をジャータカの一番最初の10の完全なる智慧と。これが、一切仏の根本の教えとなっている。そこから発生して「苦、集、滅、道」という真理が確定して教えて行っただけです。だから、これ無くしては全宇宙の仏が発生しないという、非常に崇高な教えなのですね。

「苦、集、滅、道」の事も、お釈迦様は全て体感して自分の過去を観てから、何故生まれて死ぬか、どうしてそういう事になるかという事を述べておられるわけです。これが漢文で書かれていますから、下書きがあるから、非常に明快に解ってくる訳ですね。これと、実際にこれを名色で観て行きます。「ああ！正にその通りだ」と。それで確定

して、今度はこういう、今度は実際にでは一体、どういう人生を送ったのかという、ジャーナカ物語で因縁の凄さを教えている。こういう事を考える事によって、ますます一切の仏に繋がって行って、大変良い結果が出ますから、ただこういう風に続けて下さい。必ず良い事があります。これが最高の社会に対する布施と言います。ですから社会が逆にお布施して、ドンドン続けて下さいという事です。

肉体労働での強烈な痛みを取ってくれる蒸留酒

【参加者】

最初に読ませていただいたこのお経の「お酒を飲まない」という戒律があって、日本のお坊さんですと、そこは、お酒飲まれて普通にされていますけれど。ここはやっぱり戒律として厳格に…？

【水源師】

あのね、お酒を飲んで酔っぱらって、悪い事をしてはダメ！という事です。そういう意味合いの事で、それをきつくきつくやるから、私がパオにいた時に、皆きつく働く人は、ヨーグルトにお酒が入っているのです。発酵するから。それを沢山飲んで、体の中の痛みを消していました。私も自分で家を建てる時に、毎日12時間重労働するでしょう。人がいないし、コンクリート造ったり、柱を上げたり、土を捏ねたり、壁を打ったり。そしたら夜になったら体が震える訳ですよ。その時に、お湯で薄めた焼酎。蒸留酒でなければダメみたいです。お酒でもダメ。蒸留酒でやったら痛みが出ないで、夜健やかに熟睡出来ました。それで、次の日はまた働ける。

ですから、大乘のお坊さんはお寺を建てるのです。石を持ったり。だからお酒をドンドン飲ませる。それも蒸留酒ですか？ただのお酒ではなくて、蒸留した酒が良く体から毒を取って、次の日に働ける。毎日飲ませない。そういう重労働した時には飲ませるようです。と言うのは、お寺を造って行って、どんどん作業して、石を上げたり、土塀を造ったりとするでしょう。凄く重労働があるのです。それで、体が壊れない様にその時は飲ませて、終わったら、また普通通り瞑想と。

南伝の方は、サマネーラが全部やるのですけれども、重労働は全部。比丘は何もしないのです。だから飲まなくても結構という。そういう状態ですけど、但し、大きなパオで寺院を建てる時は、比丘も何も皆働いて山を崩しに行く訳です。石を取って。その時は、どういう風になっているか解らない。特に筋肉を使った事のない人が殆どだから、病気になったのか？その点がはっきりしないけれど。

「戒律ばかりが増える一方で、法が消えていく」とお釈迦様が言われた

お釈迦様はこう言いました。「これから私が死んで、色々な規則が227 どころかいっぱい規則が出て来る」と。「規則がいっぱい出るが故に法は消えます」と。規則を守る事ばかり考えて修行が出来なくなって。但し、本当に仏に帰依して法を、本当の法を、アクト・オブ・トゥルース (act of truth)、英語で言えば。日本語で言えばどう訳すか知らないけれど。「アクト (act)」という英語の訳が宗教的な日本語にはないはず。だからパリー語から明快に「アクト・オブ・トゥルース」という法の凄さをこの英語で表せる。

だから、お釈迦様は「一切のそういうものがない所には、ドンドン法が発生する」とだから、最初のバラナシのサルナートで説法した時には、全てアラハトになった。根本仏教の最初の初期は13の戒律しかなかったと。と言うのは、一緒に寝ている時に変な事をする。だから、変な事をしてはダメと。夜。簡単な事で。だからドンドン増えて行って「ああだ、こうだ」と、それを皆守れば聖者だと。それを守る事ばかりやったおかげで、結局、心の進化が出来ない様になったのではないですか。

仏の心が解析できないAIは恐ろしい方向に走ったら止められない

だから教典仏教に走って行くのでは無いですか。教典だったら、書いて丸暗記したら「ああ凄い！」と。話も出来るし。そういう事だけれど、幾ら教典を丸暗記しても、コンピュータが全ての教典を読んでも涅槃に行けないでしょう？まあそういう事で、結局、ロボット人間になって、ロボットに運動させて世界一走ったって、これは機械が走った事であって、あなたが走った事ではない。仏教も全く一緒に、幾ら知識を詰め込んで、ヘルメットを被って「強い」と言っても、結局中身がフニャフニャで、本当に生で戦ったらもうすぐに負けてしまうでしょう？だから、本当の自分の心をしっかり強く岩盤の様にしてくださいと。

だから、頭にコンピュータを入れてね、今度、チップスコンピュータが入る訳です。だから、将来はこれを入れたら、学校にも何も行かなくて、それでドンドン働いてくれるから。と言う一部の利益の為。それどころか、もう結婚しなくても良くて。クローンでドンドン作りますから。という事が、実は出来るのですね。それも、加速化させる事が出来る。遺伝子の入れ替えで。そこにチップスを入れれば、大学の先生の頭脳が直接コンピュータに繋がるから何でも解析出来て。ついこの間も、ある将棋師が将棋の

ソフトを使ったのではないかと疑われて、本人は辞退したと。そこまで、アーティフィシヤル・インテリジェンス（AI）は発達している訳です。

それは、皆さんの心の解析な訳です。何故、心の解析かと言ったら、結局、皆さんをモニターしている訳です。街とか、東京都をずうっとコンピュータで解析して人間の行動を観ている訳です。特に、飛行場に行けば、メタデータと言って、そこの中で全部体を観るでしょう。あれは人間のDNAの組織から体、体格、全部をコンピュータに入れておくわけです。それを解析して、どういう風な行動を取るかと。心が解析出来ないから、それは外だけを観る事であって、分析科学だから破綻が来ます。恐ろしい方向に走ったら止められません。

だからさっき言った様に、涙が出るという崇高なこの宇宙の存在を忘れている訳です。何時でも、それを、私達は神とか何とか言った、と言うけれど、実は仏の心は永遠にここにあるわけです。だから、そこにコンタクトした時に、涙が出て来る。という実に、現代科学はですよ、コンピュータはこれね。飛行機、ロケット、これは幼稚園で使うおもちゃのレベル。幼稚園のおもちゃのレベルです。

真実は隠され、本当の情報の真意を分からせない世界情勢というのが今の現実

だから、皆さん、実態の本当の情報を知れば、その情報自体が何を意味しているか解っていないはず。だから、ヒラリークリントン氏がジョン・ポデスタ氏と email した時に、ヒラリークリントン氏が国務長官だから、その email の中にはスーパージークレット、トップシークレットになりますね。そこで聞いた訳です。「エイリアンはいるか？」「います」と。「エリア 51 から体を動かして他に置いております」と。それが 1947 年に発見されて、全部解体して、それ「全部本当です」と。

つい最近までこんな事言ったらバカにされたでしょう？ 頭が狂った人ですねと。ここです。メディアです。これが全部、政治、経済、科学、全て。科学がね、ここをやる訳ですよ。お釈迦様に反対したこの学校を使う訳ですよ。特に NASA はこれをやる。サンジャヤ・ベーラッティプッタ（Sañjaya Belatthiputta: 懷疑論者の一人）、懷疑主義。絶対に YES と言わない。「こういう物体が発見されたけど」と。「多分、それは火星か何かの隕石の正体ではないか」と。という事で、絶対的な事は言われないと言う、こういう学校がもう 2500 年前に、お釈迦様の時にあるわけです。これが、さっき話した 6 部の一学校の手法なのです。

だから、科学では、ああ言えば、薬を作った時に「これが本当にどうなるか証明しなさい」と言うでしょう。絶対証明出来ない。絶対出来ない。ただ、効く、効かないは出来るけれども。どういう風な因果関係でどうこうなるかって。バカにしていると思う。私達をバカにしている。こう言うね、科学分子の組み合わせがあるでしょう。4つの言葉

で出来て、その4つの言葉がどういう風な言葉ではなく、数学的に図形になっているわけです。このエリアを解析した数学は誰もいないのですよ。それを「やれ」と言うわけ。本当に、まあ、私はそういうアカデミックは関係無いし、宗教だから良いけれども、私がそこの世界にあったら頭に来るでしょうね。バカにするな！という事で。だからそういう事は全然解らない様に日本ではなっています。だから一方的な押しつけだけでおしまい。だからお釈迦様が、「生まれて死に、生まれて死に。足かせ、手かせで生きて、それを何時まで続けますか？」とお話しされております。

だからどの歴史を取って来て見ても、現在、私達が解った歴史ね。でっち上げの歴史ね(笑)。でっち上げだから、ここを幾らやったって頭が狂うだけでしょう？私達が最高の科学である、この解析ロケットもコンピュータがあるのだけれど、シリアには1千トン級の石がある訳ですよ。1千トンの角材が。それが、遠い100キロか200キロ先より運んでくる訳です。あるだけ、解析なし。無視。という事は、この太古の文明の方が私達より高い知識を持っている。ちゃんとやっている訳ですよ。ところが私達は「石器時代は馬鹿で野蛮だ」と。「何もない」と。結局ね、猿が人間を笑っているみたいなもの。私達が猿で。そういう超文明を持った、そういう現実を見つめながらお猿さんの様に笑っているだけ。

ジョン・ポデスタ氏とヒラリークリントン氏が国務長官の時の情報を持っているから、「一体シリアをどうしてそういう風にイラクを攻めて行くのか？」と。「ここは、聖書に書いている7千年前に宇宙人が来た宇宙基地だという事で、それで、私達が行って調べている」と。

それで、私はどういう風に仏教を読んでいるのかと聞きたいの。そういう基礎知識も無く、一体何の勉強をしているのですかと。お釈迦様は全てそれを乗り越えた事をここに書かれている訳です。だから、心から仏に帰依して、想って。そしてサンガで皆さん一緒に瞑想されて、そして精進して行けば、浄土決定。という事を最初からもう救っている訳です。お釈迦様は。それを「救われたい、何だ」と、もう脅かして、脅かして「あれしろ、これしろ」と。もういらないって。これだけやれば良いの。

でもその1850年代の聖セントテレジア様が「これからは、魔が来て、皆さんをグルグルと激しく同じ所を走らせて働かせる」。だから、私はカソリックの聖者も凄いと思っている。もちろん、知られていないけれど、この東洋の仏教の偉いお坊さんは、全て観て、ちゃんと書いているのだけれど。メディアが全く放送しないし、無視。私が、アメリカの飛行場で一番困ったのはね。前は、カスタムオフィサー(係官)がいる訳です。何か間違ったら、話しが出来るでしょう？だけど全部機械なのです。機械なので行けないのですよ。「はた、困った、どうしよう」と。たまたま一人いたから聞いて、すぐ入れたけれど。機械だから、YES, NO, NO 絶対行けない(笑)。何の罪も無くても、「ちゃんと合わない。あなたダメ、罪あります」。それでおしまい。どうするこれ？この機械文化の恐ろしさ。

と言って又、昨日説明した様に、6つの思想学校、精神学校がもう大流行りで、もう滅茶苦茶になって、全く同じ。2500年前にお釈迦様が出て、それを全部回収したわけ。また返り咲いているわけ。毒きのこがムニャムニャ、毒きのこがモアモア「ああこれだ！これだ！」と飛びついている様なもの。良いものは悪い様に徹底的に嘘を付いて教えないと。一匹でもね、牛が逃げたら困る訳ですよ。ドーッと百頭、二百頭逃げたら「ああ大変だ！」と。

あのですね、私はカナダに行って公務員になって、一番失敗したと思うのは55歳ですぐ辞めれば良かったと。そんなに違わないのにと。何と会社はまだ若いから辞める事ないし、何で辞めるかと、57歳でボーンと退職した訳ですね。何故かと言ったら、給料が一緒なわけ。働いても働かなくても同じなのです。死ぬまで貰えるのです。でもね、同僚は働いているのですよ、私には訳が解らない。カナダは経済後進国なのですがこの13年間世界中回って遊んで、全然困らないのです。牛、馬、材木の原料国。おかしいと思いませんか？おかしいと思いませんか？カナダ\$は今67円かな。ハッハッハ(笑)！でも、このお金で悠然と暮らせる訳です。世界の何処でも行けるし、世界の何処でも暮らせる訳です。沢山の国々では幕張で本当のことを見せない様にして、国民を如何にして安い賃金で働かせる仕組みの様です。

こういう現実の情報を、現実的に話した方が日本におりますか？誰か？老人になれば、全て体が動かない人はお金無しで取らずに全部無料医療。でもそれが破綻しなくて、働く人もちゃんとしないと色々な問題があるけれど、まあ基本的にはそう。まあ、カナダはでっかいと言うけれど、カナダ人々はこういう法に出会うのが非常に難しい訳です。だから、幾ら説いても、有り難救われ教の方が良い訳です。やれば何か帰って来ると。それは帰って来るけれど、その有り難さが、あまりにも巨大で見えないわけです。でも、日本では、こういう風に、千年以上、千五百年も仏教の事を深く帰依しているから、理解してくれる土壤がある訳ですよ。だから今の私の様な待遇よりも、こっちの方が非常に価値があるのだけれども、今度、これをさせない様にさせない様にしている様です。させても、迷う様に、迷う様に。パチンコで言ったら絶対当たりなし。全部落ちる様に出来ています。

【参加者】

それは一体誰がやっているのですか？

【水源師】

もちろん、GHQ、CIA。日本が逃げたらアメリカは破産なわけです。TPP やったら、完全にもう国会議員も何も無し。問答無用。「はい、出なさい」。おしまい。その現象は、ギリシャそれからキプロス。見たでしょう？今、ドイツが何時銀行を止めてお金が使えなくなるか？1兆4千億のお金を払う、払わないでアメリカでやって、これを払えば

破綻。という事を話さなければね、経済状態を話さないで、これだけやったら、皆、また雲の中で楽しく生きて行けます。でも、そういう現実の中を解りながら修行すれば、そういう事は問題ない、という事を言いたい事であって、脅かしている訳ではない。これを言わないでぼやけたら、パニックになって、この素晴らしい宇宙の贈り物が受け取れないという事になるわけです。信じられないという事。

だからこういう事で、最先端の科学情報と、実際何が起こっているか？それもほんの10分の1の知識で教えているけれど、これを、実際、私がアメリカの將軍達の情報と、DNA関係を皆さんお話したらショックを受けると思います。

慈悲の心が根底にある仏法に国境なし、そして多くの人々を救う

もっと凄い事をお釈迦様は教えていると。また、そういう事で、何か必要か私は教えやすいけれど。もし、そういう事も知らないで、ただ教典だけ読んだら的外れです。大いに的外れてどこに吹っ飛ぶか解らない。でも本人は教典にある通りやっているから「私には責任ない」と。「この通り書いていますと」。でも書いた人は、お釈迦様は書いていないのです。

だから、チベットでも新しいお経が発見された時は、非常に素晴らしい行者達が集まって、研鑽する訳です。ずうっと瞑想して行って。それで「この文献は正しい」と。また、南伝でも、お釈迦様のお経をずうっと解析して行くでしょう。そしたらコメンタリーというのがある。そのコメンタリーをまたコメントする訳です。またコメントする訳です。コメンタリー、アフター、コメンタリー。それが全部揃って「間違いなくこれは本当だ」となるわけです。というコメンタリーをチェックする瞑想法がある訳です。チェックする方法がある訳です。パオ・セヤドーとか、そういうね、アジタン・セヤドーとか、アーロードビー・セヤドーとか、瞑想ばかりする訳です。だから、四方八方からチェックして行くわけです。だから、パオでは227の戒律を言う訳です。一言の言葉を迷っても「ワーッ！」と一斉に比丘達が大声で「違う！」と。厳しいですよ。戒律もう絶対的です。という風に帰依をしています。

だから、私は、ミャンマーという国は仏教の聖地。まあスリランカも、タイも、非常に私達は幸運なのです。中国共産党によって、中国の素晴らしい仏教が潰されましたけれども、たまたま奇跡的に1932年に和尚さんが「お前は中国に残るか、それともシンガポールに行くか」と。それで、ジャンケンで決めて、行った方が印光大師という方で。その時は小さなアバラ小屋だったわけです。それが、もう巨大なお寺で。この人が死んだ時は100万人のシンガポールの人が参列して葬儀したそうです。シンガポール全ての政治家はこの人に「問題をどうしましょうか？」相談したそうです。

私も18歳の時、最初に韓国に朴大統領に招待されて行った時に、見たらお寺がないのですよ。戦争で。木も一つも無く、全部焼けて、ただグリーンで山。その時に見て、一番良かったと思ったのは、ポッチョンサというお寺。有名な世界遺産のお寺で、そこになにかほのぼのとして和尚さんが歩いていた。

やはり韓国仏教は、山の中です。仏教だから、世の中に出ない訳です。つい数年前に死んだ、法頂和尚（ポプチョンスニム）という方も一切山から降りないで、何か自分の詩を書いたりそういう事をする訳です。ベトナム、カンボジア、インドネシア、ずーっと回って見ましたが、今、韓国が何だかんだと言ってもこれだけの力があるのは、私の先生を見ても「心の持ち方を何処に置けば良いか」という事を必死になって説き回って。それで、やはり経済が発展するわけです。

その昔、私が非常に中国の事を心配して、中国の中枢中の中枢を韓国に連れて行ったわけです。と言うのは、私の家系で、一般の人は解らない。私が一体何者なのか。その人達はすぐ解る。その中枢の人を連れて行って見せたわけです。その後、中国が経済大災難にあって「これをしたらどうですか？」とお話したのです。それでこの方が政府に実行するようにお願いして2億の人が助かった様な新聞記事を読みました。

とう事が仏法の本質で、これで日本が中国にお返し出来る訳ですよ。2億の民を救ったことによってですね。そのとき。貧困で食べられない。その貧困の方々が収入を得る法方をその方が前に見聞していたのです。仏法には国境なし。もし、国境を作ったり、宗派を作ったら、これは大変な大きな間違い。もしチベットの人が困ったら、ダライラマさんが来て、私が直接こういう風に出会って、ダラムサラに行き、青年チベット協会（YCT）の会長に懇々と説明したわけです。「これ止めてください、話ししてください」とその後、ダライラマのお兄さんとお姉さんが北京に行き、話しに行っていたけれど、結局物別れになりましたね。仕方がない。色々な王国の問題であるけれど。

という風に、私には仏教のボーダーはないです。ただする事は、皆さんにいち早く法を受け取ってもらえるか、または浄土に行き、貰う事だけです。という風に、こうして、日本広しと言えども、これだけ聞きたい、話しだけでも聞きたいという事で、もうこれは大変な事なのです。いや、私ではないですよ。観音様のお力ですよ。という風に、何か私は小間使いをちょっとやっていますけれど、という風に仏法は凄い事なのです。喧嘩が一番ダメです。この慈経にある様に「絶対に人を軽んじるな」と。「ありとあらゆる生命を愛しなさい」と。「慈しみなさい」と。という事が慈経の根底である訳です。

という事が仏の教えで、やはり10の教えの中のコンパッション（compassion）慈悲。慈悲、慈悲。愛とメッタカルーナ。という事で、私達はね、水の中の池の下に住んでいる生命体なのです。ここから飛び上がって、羽が付いて、宇宙を見て、この世界を見たらもう驚嘆するでしょう。それが、私が言っている、凄い大世界がありますという事、そこなのです。という報告をさせて頂きたいし、また輪廻転生でね、ちゃんとした法を持って、愛の心が無ければ、どこに吹っ飛ばか解らない。だから、そういう事で、

慈愛の心、メッタ。本当の慈愛。本当の愛と言うのは、さっき言った様に「酒を飲まない様に」と。それを強引に進めれば、お坊さんが体、肉が切れて死ぬかもしれない。修行出来ないかも知れない。そこの取り合いという事です。

今、大問題になっているのは、フィリピンは1億の人口がいるけれど、今の大統領ロドリゴ・ドゥテルテという方が「私はヒトラーが300万殺したから、私も堂々と300万人の麻薬の吸うものを殺す」と。世界中の非難ごうごうな訳です。人権問題から。「アメリカは一日3名を銃殺しているではないか」と。「私だって警官にどんどん銃殺させる」と。「私も全ての国民に食べ物与えて、着るものを与えて、そうしたい」と。金がない。出来ない。「それよりは、真面目な人をまず助ける」と。こういう風に次から次と麻薬を売って私服を肥やして、真面目な人を病気にさせると。「だから私は殺す」と言う。堂々と殺すと。大統領官邸に呼んで、カメラを置いて、目の前で「私はお前を殺す」と言っているのだ。「死刑にする」と言っている。「お前、今止めないと、今殺す」と言っている。堂々と国民にテレビのまえでお話していました。国民の方々は経済的にご苦労されているので、麻薬で経済が潰れそうになっているそうです。

という事は、この一人の病原菌によって、他の少年とか将来国を背負って行くそういう青年とかの、幼年少年達がドンドン麻薬でやられたら国が潰れるでしょう？ヨーロッパとかアメリアとか、日本は国が潰れる程の問題ではない。

彼は検事だったのです。検事と言うのは、弁護士みたいに難しいのですよ。馬鹿ではないのです。もう法律的に書いた、そういう手段で救えれば最高だけれど、話しをして。特にフィリピンはカソリックの国でしょう？ありえない事が発性している訳です。皆神に願い、神に祈り、絶対に悪い事をしない。悪い事をしたら完全にもう落ちて行くと。でも麻薬の蔓延が止まらないわけです。

南米も一緒なのです。メキシコ。悪がいくら本でも力を持っていて、本当に真面目な人達が痛めつけられるわけなのです。だから、不義がドンドン大きくなる。不義が大きくなる。法がないから。日本は、何だかんだと言って、ブラックボックス。まあ、小池さん偉いのですけれど、男よりうんと偉いのですけれど、まあ世界に比べたら、もうクリーン、クリーン、クリーンです（笑）。

やはりここには何故か法があるけれども、日本中の田舎の和尚さんも真面目にお経を読んだり、書いたり、人の為に尽くすと、あちこちでやっているでしょう？これが法で、結局、長い間に培われて来たこの仏法を守る。やはり、鐘をゴーンと鳴らしたり、頭を下げたり、気持ち良いです。ただ、これを悪用してね、ドンドン本当ではない事を「本当だ」と。という事をお釈迦様が言っている。「そういう人が出て来る」と。さも解っているかの様に。これをお釈迦様は「止めなさい」と言っている訳ですが。だから、今まで続いてきた事を台無しにしようともう必死になってやっている様ですね。

だから、今は、日本のお寺さんが大変な事になっている様ですね。何故かと言ったら、前は経済がうなぎ上りに行ったからドンドンお布施が来たけれど、今度経済がグーと

落ち込んだら、一番先に切るのがお布施なわけです。次はレジャー。もう法則が決まっているでしょう？ところが、お釈迦様はこれをやらせない様に布施で行く様にしているわけです。ずうっと。本当に素晴らしいシステムを作りあげようとするけれども、誰かさんが外から来てそれを出来ない様に、出来ない様にしているのだけれども。普通、昔は里山とか寺子屋とか言って、ここに本当に素晴らしい文明を築いて来たわけです皆さんが生きれる様に、助け合う様に。

それをコンピュータだ、何だかとぶつ切りで若者は全部東京に押し寄せて、田舎はもう 80 歳、90 歳。どうして生きて行けますか？莫大な金が掛かって来る。今度は乳母捨て山を作る訳ですか？まあこれは極論になるけれども。これを如何に分散して、人に優しい政治を如何にして行くかという事が必要ではないですか？そこが、仏教とか宗教界の人、それから法曹界の人が、必死になって説いて、政治家を後押ししてやらなければいけないのに。旗ふれ、旗ふれ、喧嘩、喧嘩ばかりやっているから、もう一般の人が苦しくて何処も行けない様になっている。これを止めさせなければいけないと思う。

そうでなければ、メキシコで発生した様に、お話しした様に、お母さん方がマシエット、刀を持って、若い暴力団が来る訳です。お金を剥奪する。木は切って行く。それで、女性が立ち上がって、その覆面の若い者を追い出した訳です。ついでに政治家、警察、全部追い出したわけです。その後、犯罪が全部無くなったと聞きました。アメリカ人も同じことを言っていました。NY で警官がストライキやったら、犯罪が殆どゼロに近かったそうです。皆知っている訳です、今アメリカで一番怖いのは政府だって。政府ほど恐ろしいものはないと。国民が一番怖がっているのはテロよりもアメリカ政府、警官なのですって。警官は待ったなしで車を止めて、銃を使用するようです。

という風に、これを止めるのは、精神界の人達が本当に真面目に、体を張って法を教えるて行くしかないと思う。ただ、口だけではなく。実際に行動として示して、実際に物として表さなければ、やっぱり法としてとか、病気を直すとか、例えば、こういう法が良いという政策案を出したり。もう政治から離れて山で暮らす時間はないと思う。もはや。日本にはそういう道場も無いし。ただ救える道場は、如何にして人を救うかという仏法の道場しかないと思う。街に出て行って助けて、介護をどうするか？と。ドンドンドンドンして行く事によって、お寺に布施がドンドン来て、尊敬されるから。

という事が実際にあった訳です。昔、確か江戸初期の時に、あるお坊さんが日本全国を回ってお寺を再建したいと。その時に、大地震か何かの火災が発生して、人がもう迷った訳です。その時に、その金をポーンと「使って下さい」と。その代わり又全国から 2 倍になるお布施が入って来たそうです。

また、シンガポールの印光大和尚さんも、IMF でジョージ・ソロスですか？お金の詐欺師。全部、東洋のお金を取られて。ジョージ・ソロスとヒラリークリントン氏はばっちりでしょう！アッハッハッハ（笑）バッチリ！もう滅茶苦茶。追及するどころか

それでちょっとマリファナがポケットにあると。140 万の若者を逮捕。アメリカは世界一のクリスチャン国な訳です。クリスチャンと言うのは、神に従って、正義でピュアで絶対的に良い事するしかない宗教が、実態はこうなのです！

まあ、そういう事で、法がある、ない。まあそういう今の現状でも、日本は何とか何とか皆さん助け合って、慈悲の心で動こう動こうと言う。これをなくさない様に、なくさない様にとという事で、私は慈悲の瞑想。愛の中で生きましょーとしょっちゅう言っているのは、ここの問題で。もはや、難しい理論仏教では、それはね、学者とか好きな人は研鑽して下さいと。一般の人には、私はここを願って、さっき言った観音様。または、仏の事で涙流すと。これは素晴らしい。もうこれで、もうちゃんと仏心が心に入ってきて来て、これから後、ゆっくり、ゆっくりやって行けば必ず良い事になるし。今ここで原爆が落ちて破壊されても問題なし。輪廻転生で良い所に行きます。もし、これ無くしたら、もうお先真っ暗！パニック。まあ、そういう事です。



象さんの孤児と病気を介護する 保護園の象さん達の水浴、スリランカ

観音経と観音様

【参加者】

この観音経について何かお話を頂ければ。

【水源師】

今年はね、不思議な事があって、南米でまず観音様を彫っていた訳です。ずうっと。どういう風に観音様を彫って良いか、もう困った訳です。それで私は観音様は男でもない、女でもないという事で、ある日本の素晴らしい仏師が、「そんな知りたかったら触ってみろ！」と言ったらしい。解るじゃないかという話しですが。困ってしまって、高麗観音には髭があるのですよ。だから、まあ、男身として彫っていたら、観音様が女性として現れて来たの。まあ、そういう事で彫って行って、彫って行く内に、もう普通の物ではないのですね。実に不可思議な、目が出て来るのです。ずうっと。彫らないのに。幽霊の話しではないですよ。本当に不可思議な話しですよ。

一番困ったのは、男性にしたから、おっぱいの所が出るでしょう。非常に失礼で迷いに迷ったけれども、やはり、そういう映像をお見せ頂いて。「ああ、多羅様だな」と思って。グリーンターラ。だから、観音様と多羅様は一緒です。それで、まあ彫って行って、「日本に持って来ようかな？」と思ったけれども、「カナダにそのまま居りたい」と言われるのです。

その昔、チベットの王様がね、お嫁さんをカトマンズの王様から王女様を貰いに頼んで、その王女様がカトマンズの王女様がチベットに上がって行く時に、観音様が王女様にお話しするのです。これは特別な観音様。銅像で出来ている。そしたら、その観音様も王女様が大好きで「私も一緒に行きたい」とお話したわけです。今でも、伝説ではなく、チベットの人はもう最高の聖地で、そこにいつも頭を下げに行きますよ。そのお寺に。

そういう風に、カナダの仏像も「行きたくない。居りたい」「ああそうか」という事で、今来ていないのですが。そういう風に不可思議な事もある訳で。良く良く考えてみたら、私がずうっと観音様を念じていたら、とうとう最後にパオの僧院に行って法随観を受け取ったわけです。その前に、心髄観で、先生の言われる「空」の世界を見せて貰ったのです。そして、ここに書いてある訳ですね。「念彼観音力 釈然得解脱」。この「釈」と言うのはお釈迦様の「釈」でしょう。「釈然」。最初のページ、3ページの中のここですね。「釈然と」というのは、「釈然としない」とか、「しっくり来ない」とか、そういう風に使われているけれど、では何故この「釈然」という言葉を使うのか。

私としては「お釈迦様の様に解脱を得る」と。実際に起こった訳です。ウ・レワタバ
ンテが皆の前で三回、三回声に出したのではなく、三回別々に「君は仏の目を持った」
と。「You have budha eyes」と言って又、「You have budha eyes」もう一回「You have
budha eyes」と。仏の目を持ったと。「名色」を解析出来ると。皆の前でこう言われまし
た。そこから急速に深く入って行った訳です。という解脱の力を持ったと。「お釈迦様
の様なブッダ・アイをあなたは持ちました」

という事と、それから、その前の所。「波浪不能没」と。と言うのは、ベトナム戦争で
難民として流れてきた方が非常に観音様を信仰して、もう観音様を一生懸命、漂流し
ながら祈ったらしい。船に150名居って、水も食べ物も何もない。何時死んでもおかし
くない。奇跡的にインドネシアに着いて、そういう話を聞かせてくれた訳です。「何故
あなたは海に出て助かったの？」と。「いや、もう皆で観音様を拝んでいた」と。「そし
たら、そこに着きました」と。その方はUNのルンビニ公園を提唱して造った方です。

また「念彼観音力 刀尋段段壞」という所があります。この事がチベットのホータン
の国の第三王女。妙善王女が、王様からとても怒りを買って。というのは、「修行して
尼さん、比丘尼になりたい」と。それはダメだという事で、罪を着せられて殺してしま
うという事で、処刑場に行ったら、三回だったかな、刀が雷にあって、バンバンバーン
と「段段壞」と。実際に起こったわけです。という事が、フラリと浮かんで来て。結局観
音様を彫っていましたから。今年はもう観音経で行くしかない。最後は観音様にお
礼を申し上げるという事で、そうしようと。何と、そしたら仏光山のお寺で、観音様が
巨大な観音様が蓮を持って現れて、私達、全部、瞑想者をその中にお入れ下さいました。

やっぱり非常に尊敬したから、法、観音様というのは法そのものなのです。だから、
般若心経は観音様なのです。般若心経は法そのもので、それ自体が観音様。だから、チ
ベット仏教では必ず般若心経を唱えます。そして又、チベット仏教のダライラマ法王
様は観音の化身と言って、観音様は阿弥陀様を捧げています。奇しくも、アロートピュ
エ仏陀は西の仏なのです。そういう事で、納得行きますか？それでは、皆さんで、観音
経を読ませて頂いて。

— 読経 観音経・回向文 —

【水源師】

皆さんご苦労様でした。また来年お会い出来ます事を心からお祈り致します。皆さ
んも元気で一日1分瞑想は忘れない様に！1日1分瞑想！結構！



八仏寺の 涅槃像 プロナール、スリランカ

水源禅師法話集 71

(2016年10月16日 東京法話会2日目)

2018年4月7日 発行

編集兼発行 一乗禅の会